

標準施工要領書

厨房用排気ダクト断熱材

「フジカバー」

作成	2012年3月13日
改訂	2018年4月2日

フジモリ産業株式会社

厨房用排気ダクト断熱材

フジカバー

1-1

保管時の 注意事項

1. 屋内の通気性の良い場所に保管し、以下のような場所での保管は避けて下さい。
 - ・水や蒸気のかかる場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・過度の湿度や乾燥が著しい場所
2. 保管時に急激な温度変化による結露が発生しないようにして下さい。
3. 落下させたり強い衝撃を加えないようにして下さい。
4. 保管は、原則として平坦な場所に置き、重い物を置かないようにして下さい。また、他の作業より損傷を受けることのないようにして下さい。
5. 外装箱は、保管期間、保管場所の湿度、段積みなどにより強度劣化が進行しますので、先入れ、先出しの原則を推奨します。

1-2

施工前の 注意事項

1. 本製品は、保管状態、輸送時の落下などによる外的要因によって変形、破損する可能性があります。お取り扱いには、細心の注意をお願い致します。
2. 本製品は、万全を期して出荷しておりますが、運送上のトラブル等による不具合がないか受入れ後、速やかに必ずご確認下さい。
3. ご使用前に、内容品の数量等をご確認下さい。

1-3

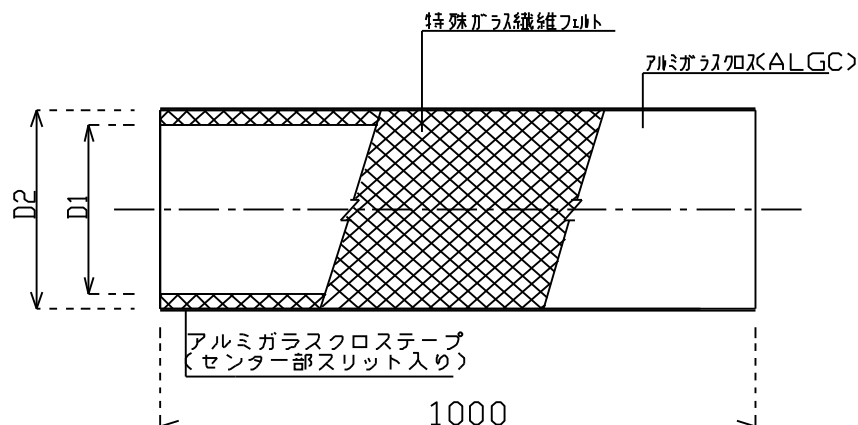
施工時の 注意事項

1. 製品の表面部分は破れやすいので、突起物のそばに置かないで下さい。
2. 万が一表面紙が破れた場合は、アルミガラスクロステープ等で補修してください。補修できないほどの破れや内面のガラス繊維に損傷がある場合は、使用しないで下さい。

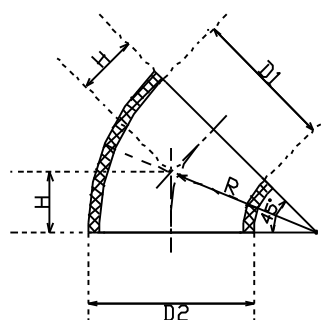
1-4

基本形状

■フジカバー150φ



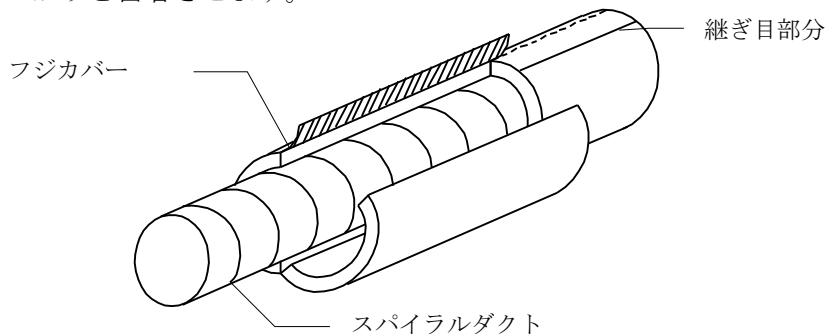
■フジカバー45° × 150φ (90° の場合 : 45° × 2ヶ)



施工方法①

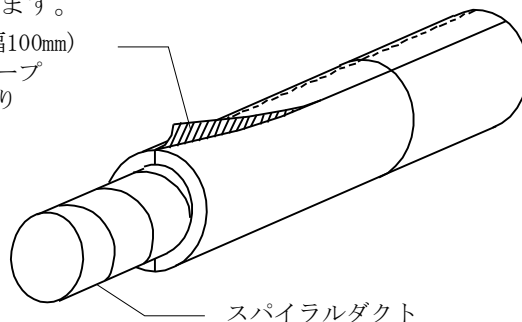
○ フジカバー 直管

1. フジカバーをスパイラルダクトにしっかりと密着させて被せます。フジカバーの継ぎ目部分もしっかりと密着させます。

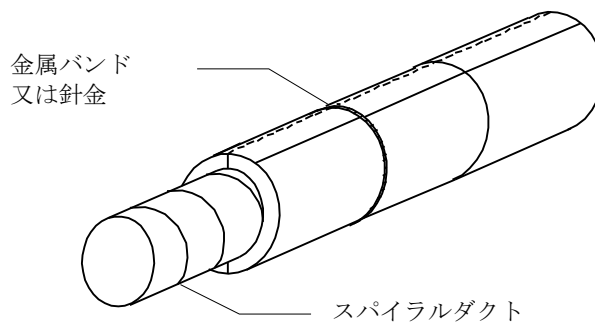


2. フジカバーの外皮についているスリット入りアルミガラスクロステープの片側(50mm)の剥離紙をはがします。フジカバーとスパイラルダクトの密着を保ちながらしっかりとテープで目張りします。

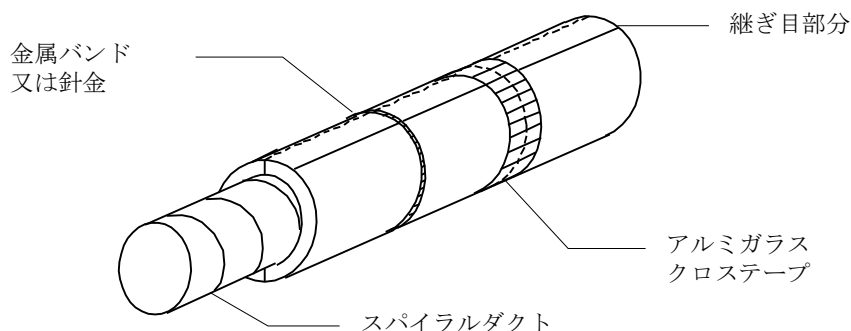
アルミガラスクロステープ(幅100mm)
※センター部スリット入りテープ
片側のみ(50mm)テープ貼り



3. フジカバーの上から金属バンド又は針金で緩みのないよう締め付けます。金属バンド又は針金の締め付けは、200Lで1箇所、1000Lで2箇所を目安とし、脱落防止のため必ず取り付けをお願いします。

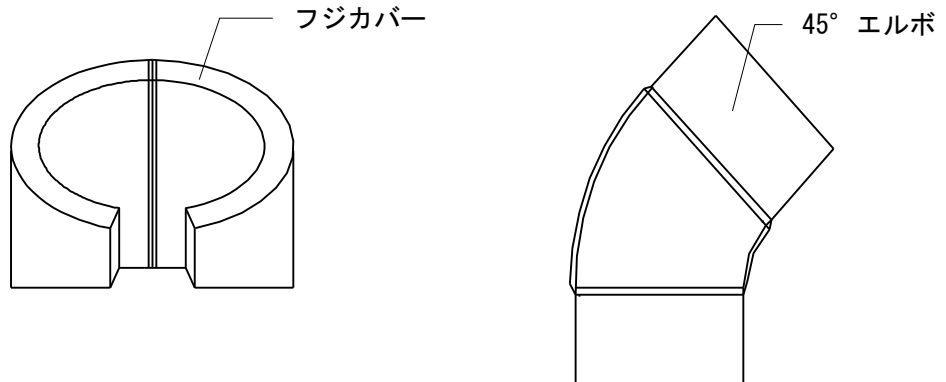


4. フジカバー同士の接続は、アルミガラスクロステープで目張りします。継ぎ目部分は、しっかりと密着させてアルミガラスクロステープの重ね幅10mm以上を確保し、目張りします。

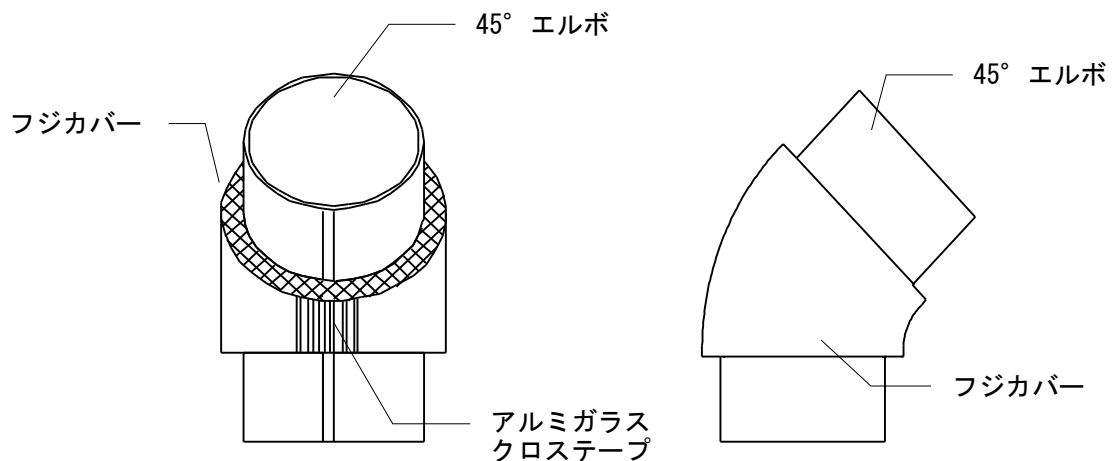


○ フジカバー45°

1. フジカバーを45° エルボにしっかりと密着させて被せます。



2. フジカバーとスパイラルダクトの密着を保ちながら、しっかりとアルミガラスクロステープで目張りします。



○ その他注意事項

本製品は、1.0Rエルボ規格のため1.0Rエルボ以外を使用した場合には隙間が生じます。その際は、同質の断熱材等で隙間を埋めて下さい。

- ・エルボ等の接続もアルミガラスクロステープを使用して下さい。
- ・補修用テープには、アルミガラスクロステープを使用して下さい。

- ・寸法調整のため、カバーを切断する場合は、カッターナイフを利用してください。ガラス繊維が複数重なって接着されており切りにくいため、ゆっくりと行ってください。のこぎり等では、切断しないでください。